

界面動電現象

プラスチック板のような固体と水などの液体が接する面（固／液界面）ではほとんどの場合プラスとマイナスの電荷が分離して向き合っている。これを電気二重層とよぶ。固体側表面の電荷は固定されているが液体側の電荷は液体と共に移動可能である。電気をこの表面に平行に印加すると液体側電荷は液体を共にして流れる。これを専門用語では電気浸透流という。電気浸透は電気伝導とは異なる。後者はイオンなどの電荷の移動だけで液体媒質の流れはない。このように電気を帯びた流体の移動に係わる種々の現象（液体中で微粒子が電場で移動する電気泳動現象や液体が電気を帯びた表面を流れるときに発生する流動電位、物体が液体中を落下するとき発生する沈降電位などの電圧発生現象など）を総括して界面動電現象という。

松村英夫